14－３　決算整理

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　本支店会計における決算整理を理解しよう！

②　決算整理仕訳を行えるようにしよう！

（1）通常の決算整理

今まで学習してきたことを行えば良いのですが、以下の点に注意して下さい。

① 未達商品は期末商品に含めます。

② 支店において本店から仕入れた商品が期末に残っていた場合でも、外部仕入商品と同様に、「繰越商品」勘定と「仕入」勘定を用いて処理します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	×××	**繰越商品**	×××
繰越商品	×××	**仕入**	×××

③ 未達現金は現金に含めます。

④ 受取手形や売掛金に関する未達取引がある場合、未達取引処理後の残高に対して、貸倒引当金を設定して下さい。

例題14－12　決算整理後残高試算表（一部）を作成しなさい。

決算整理前残高試算表

借方科目	本店	支店	貸方科目	本店	支店
現金預金	70,000	60,000			
売掛金	142,000	60,000			
繰越商品	10,000	22,000			
支店	29,500	―	本店	―	29,600
仕入	100,000	138,900	売上	190,000	89,000

(1) 未達取引

① 本店は支店へ商品1,100円（原価）を送付したが、支店に未達であった。

② 支店が本店の売掛金2,000円を現金で回収したが、本店に未達であった。

③ 本店は支店に現金800円を送付したが、支店に未達であった。

(2) 決算整理事項

① 期末商品　本店12,000円、支店33,000円（未達商品は含まれていない）

② 売掛金期末残高に対して２%の貸倒引当金を設定する。

(1) 未達取引の処理

・本店

借方科目	金額	貸方科目	金額
支店	**2,000**	**売掛金**	**2,000**

・支店

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	**1,100**	**本店**	**1,100**
現金	**800**	**本店**	**800**

(2) 通常の決算整理

・本店

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	**10,000**	**繰越商品**	**10,000**
繰越商品	**12,000**	**仕入**	**12,000**
貸倒引当金繰入	**2,800**	**貸倒引当金**	**2,800**

貸倒引当金：売掛金(前T/B 142,000－2,000)×２％＝2,800

・支店

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	**22,000**	**繰越商品**	**22,000**
繰越商品	**34,100**	**仕入**	**34,100**
貸倒引当金繰入	**1,200**	**貸倒引当金**	**1,200**

期末商品：33,000＋未達商品1,100＝34,100

貸倒引当金：売掛金60,000×２％＝1,200

(3) 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表

借方科目	本　店	支　店	貸方科目	本　店	支　店
現 金 預 金	70,000	60,800			
売　掛　金	140,000	60,000			
繰 越 商 品	12,000	34,100	貸倒引当金	2,800	1,200
支　　　店	31,500	—	本　　　店	—	31,500
仕　　　入	98,000	127,900	売　　　上	190,000	89,000
貸倒引当金繰入	2,800	1,200			

14－4　決算振替

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　本支店会計の決算振替を理解しよう！

②　決算振替仕訳を行えるようにしよう！

主な勘定科目

「損益」勘定

「本店」勘定

「支店」勘定

（1）決算振替

決算整理を行った後、本店と支店それぞれに**決算振替**を行います。会社全体の純利益を算定するために、支店で算定した純利益を本店の帳簿で受け入れるという本支店会計特有の処理がありますので、注意して下さい。

（2）損益振替

本店と支店において、それぞれの当期純利益を算定するために、**損益振替**を行います。

・本店

借方科目	金額	貸方科目	金額
売　　上	**2,000**	**損　　益**	**2,000**
損　　益	**1,500**	**仕　　入**	**1,500**

損益振替の結果、本店の当期純利益500円を算定します。

損　　益

仕　　入 1,500	売　　上 2,000
本店純利益500	

・支店

借方科目	金額	貸方科目	金額
売　　上	**1,400**	**損　　益**	**1,400**
損　　益	**1,000**	**仕　　入**	**1,000**

損益振替の結果、支店の当期純利益400円を算定します。

損　　益

仕　　入 1,000	売　　上 1,400
支店純利益400	

（3）支店純利益の振替

会社全体の純利益を本店で算定するために、支店の純利益を本店の帳簿に計上する必要があります。そこで、本店と支店を結びつけている「**本店**」勘定を用いて、支店において支店の純利益を振り替えます。

また、本店では「**支店**」勘定を用いて支店の純利益を受け入れます。

・支店

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
損 益	**400**	**本 店**	**400**

この結果、支店の「損益」勘定は残高がゼロとなり、締め切られます。

損 益

仕 入	1,000	売 上	1,400
本 店	400		

・本店

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
支 店	**400**	**損 益**	**400**

支店の純利益は「支店」勘定を通じて、本店の「損益」勘定に受け入れられます。

損 益

	仕 入	1,500	売 上	2,000
900	本店純利益	500		
	支店純利益	400	支 店	400

（4）法人税等の計上

法人税等は会社として課税されます。会社全体の税引前当期純利益を算定したらそれをもとに決算振替で法人税等を計上します。そして、「法人税等」勘定（費用）は会社全体の費用として、本店の「**損益**」勘定に振り替えます。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
法　人　税　等	**340**	**未 払 法 人 税 等**	**340**
損　　　　益	**340**	**法　人　税　等**	**340**

損　　益

借方		貸方	
仕　　入	1,500	売　　上	2,000
法 人 税 等	340		
（会社全体の純利益560）		支　　店	400

（5）資本振替

本店の「損益」勘定で算定した会社全体の純利益を「**繰越利益剰余金**」勘定に振り替えます。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
損　　　　益	**560**	**繰 越 利 益 剰 余 金**	**560**

この結果、本店の「損益」勘定は残高がゼロとなり、締め切られます。

損　　益

借方		貸方	
仕　　入	1,500	売　　上	2,000
法 人 税 等	340		
繰越利益剰余金	560	支　　店	400